

六甲高山植物園 ヒマラヤに咲く深紅のシャクナゲ ～ロードデンドロン・アルボレウムが見頃です～

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:寺西公彦)が運営する「六甲高山植物園」では、ヒマラヤに咲く深紅のシャクナゲ「ロードデンドロン・アルボレウム」が開花しました。

今年は冬の冷え込みが厳しく春先に一気に暖かくなったため、花が早く咲く傾向にあります。

ヒマラヤのシャクナゲ「ロードデンドロン・アルボレウム」も、例年より1週間ほど早く開花し、現在見頃です。ルビーのような紅色の花は園内を華やかに彩り、訪れた人の目を楽しませています。



◆ロードデンドロン・アルボレウム(ツツジ科)

ヒマラヤに生育する高さ30mにもなる常緑樹。ヒマラヤでも人口密度の高い、標高1,000m～3,500mあたりに多く分布し、ネパール王国の国花になっています。花色は変異が多く、深紅色～淡紅色まで株によって様々です。当園に咲くロードデンドロン・アルボレウムは、「ブータン農業の父」こと西岡京治氏と植物学者 中尾佐助博士が参加していた1959年(昭和34年)の西北ネパール探検隊に寄贈していただいた種子から育てているものです。今年は4月下旬までお楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月16日(土)～11月24日(日)※休園日あり。HPをご確認ください。【開園時間】10:00～17:00

【入園料】大人(中学生以上)900円/小人(4歳～小学生)450円【駐車場】1,000円、GW期間:2,000円

※荒天等により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。